

文久二年二月廿九日  
類焼 普請書并法角

平松所

白木屋文書  
A 65  
# 25

| 摘要 | 年代               | 内容 | 表題                                  |
|----|------------------|----|-------------------------------------|
|    | 文久二年二月<br>(一八六二) |    | 類焼 <sup>三付</sup> 普請其外諸入用<br><br>平松町 |
|    | 数量               |    |                                     |

東京大学経済学部

文之二成身二日九夜

類燒 古清法角

平松所



一 職八石文

一 合書由部力

一 銀五拾文

一 合拾書由部力

市達前より取立  
考合は昔より代

在り不仕建  
型子入用

書取三子不  
新銀

町内仕還  
行月道  
法

一 口書由部力

一 合書由部力

一 銀五拾文

一 職三石由部力

一 口九石文

中通仕還  
在り

書取梅  
新銀

御  
之

仕還  
石



一 残書也之百文

一 合書也之百文

一 口走也之百文

一 口走也之百文

一 口走也之百文

一 口走也之百文

言法之灌培也

法也

言法之灌培也

言法之灌培也

言法之灌培也

言法之灌培也

言法之灌培也

言法之灌培也

一 口即 介

一 口拾也即介

一 口拾也即介

一 口拾也即介

一 口拾也即介

一 口拾也即介

自書書也

南也

南也

南也

南也

南也





全二二ある

高木通平の書  
角のありき

一 今之羅字の書は、  
此の羅字のくくありき  
此の羅字のくくありき  
此の羅字のくくありき

ある

馬場御前之書

此の羅字のくくありき

少月舟  
後之羅字のくくありき

有書百の夜に物親家  
有書百の夜に物親家  
有書百の夜に物親家  
有書百の夜に物親家

日抄  
文有書

全二二二二二

全二二二二二  
平 有

改



|       |
|-------|
| 東大・経済 |
| 白木屋文書 |
| A 5   |
| 28    |

